



【地域支援】獅子頭を寄贈しました@石巻市

石巻市北上町十三浜の白浜地区の人々から支援依頼があり、地域の文化活動支援を目的に、獅子頭と油単(ゆたん:獅子の胴体部分の布地)を支援しました。白浜地区は地区全体が壊滅的な被害を受け、現在、集団移転を進めていますが、各種の手続き等が遅れ、造成工事さえも着手できていない状況です。震災後、仮設住宅や色々な所に離ればなれになってしまった地域の人々が、再び集まる機会になればと獅子舞の復活を希望していましたが、太鼓をはじめ全てが流されたため復活できない状況がありました。



そこでルーテル教会救援に支援依頼があり、獅子頭の製作費等を支援しました。スタッフSの伝手で山形の製作者に依頼し、3/16に引き渡し式を行いました。獅子頭製作者の伝手で、山形の2ヶ所の獅子舞が仮設にっこりサンパーク団地を訪れ、それぞれの獅子舞を披露し、仮設の人たちを元気づけました。太鼓と笛の音に惹かれて100人近い人が見物に訪れ、地元の獅子舞とはまた違う獅子舞を見て、あれやこれやと語り合うなど楽しんでいました。



獅子頭製作者の伝手で、山形の2ヶ所の獅子舞が仮設にっこりサンパーク団地を訪れ、それぞれの獅子舞を披露し、仮設の人たちを元気づけました。太鼓と笛の音に惹かれて100人近い人が見物に訪れ、地元の獅子舞とはまた違う獅子舞を見て、あれやこれやと語り合うなど楽しんでいました。

【スタディツアー】聖望学園高校・ハイスクールYMCA部

3/20~23には番外編として、聖望学園高校スタディツアーを行ないました。初日の3/20は、仙台市若林区の荒浜経由で名取市の閑上地区を訪問した後、オリエンテーションをし、震災に関するビデオを視聴しました。



2日目は、石巻市の大川小学校と南三陸町の志津川を訪問。解体か保存かがまだ決まっていない防災庁舎



を訪問した後、さらに北上し、気仙沼市本吉町の前浜コミュニティセンターへ。

この日、地域の人々によるイベント「おらほのっておき」が開催されており、

その中で90歳と80歳くらいの話し手の方から、3年前の東日本大震災の時の津波の話だけでなく、昭和8年(1933)の津波や昭和35年(1960)のチリ地震津波の体験についても話を聞きました。

その後、さらに北上し、岩手県の陸前高田市へ。市街地は本当に何もなくなっており、嵩上げ工事を円滑に進めるためのベルトコンベアが建設中でした。夜は、石巻市の「NPOお茶っこケア よってがいん(以下、よってがいん)」に泊めてもらいました。

3日目は、泊めてもらったよってがいんの月1回の恒例朝市のお手伝いをするため朝5時に起き、被災地最大の仮設住宅群がある南境・開成地域に向かい、会場準備やテント設営、朝ご飯づくりなどのお手伝いをしました。朝市が始まると高校生たちも売り子役をやりながら、お客さんとして来た地域の人々や被災している出店者の方たちと話をしました。



朝市終了後、出店者である雄勝のわかめ生産者の方から震災のお話を聞きました。苦しかった避難所生活のお話や小さな浜であるが故にボランティアがほとんど来なかったことなど、様々なお話をしてくださいました。

その後、南浜の慰霊所、牡鹿半島の蛤浜を訪問した後、高校生たちが文化祭などで販売支援をしている石巻市北上町十三浜のわかめ生産者の方を訪問しました。高校生たちにとっては久しぶりの再会で近況などを聞かせてもらい、仙台に戻りました。

最終日は、仙台教会でみんな礼拝に参加しました。これまで聖望学園のスタディツアーは、日程が日曜日にかかることがなかったので今回が初めての礼拝参加。仙台教会の方とも交流ができ、高校生は最後に礼拝に参加できてよかったと言っていました。

となりびとの活動は、2014年3月31日を以て、終了致しました。ボランティアさん・遠方から支援して下さった方・東京の事務局の方・4教団の皆様・今までのスタッフと牧師ご一同・世界中の支援者の皆様に感謝申し上げます。そして、今後も各地の被災地支援をご継続くださることを願っております。

尚、この3年間の活動内容については現在、活動記録としてまとめています。完成しましたら各教団事務局を通じ、各教会等に配布される予定ですのでご覧いただければ幸いです。

**2014年4月以降
の問い合わせ先**

支援品販売関係: 野口牧師/長野教会・松本教会(JELC) ▶ k-noguchi@jelc.or.jp
その他問い合わせ: 担当/安井 ▶ tonaribito@jelc.or.jp